

仙台市児童相談システム構築・運用・保守業務デモンストレーション実施要領＜別添 2＞

1 はじめに

本書は、「仙台市児童相談システム構築・運用・保守業務委託」に係る調達に関する提案システムのデモンストレーション審査（デモンストレーション及びその評価）の実施要領をまとめたものである。

2 デモンストレーション審査

(1) デモンストレーションの概要

デモンストレーション審査では、提案者が当該システムを利用する職員向けに、実際のパッケージシステムの機能説明を行い、操作性を評価する。デモンストレーション審査の概要は次のとおりである。

ア 実施日

令和 4 年 12 月（予定）

イ 場所

仙台市児童相談所本館内を予定

ウ 時間

業務ごとに図表 2 - 1「デモンストレーション審査評価基準」のとおり

エ 方法

- ・提案者は、デモンストレーション審査会場にデモンストレーション端末を持ち込み、2～4 名までの説明員を配置可能とする。
- ・デモンストレーションは、提案者が操作する端末画面をスクリーンに投影して行うこと。
- ・必要に応じ、デモンストレーションに関する範囲内において、説明資料を紙で配布することやスクリーンに投影することを可能とする。
- ・デモンストレーションに必要な機材として、スクリーンは本市が用意する。パソコン、プロジェクター、プロジェクター接続ケーブル、及びそれ以外の補助機器は提案者が用意すること。
- ・審査は、児童相談システムの実務を担当する職員が行う。
- ・評価者となる職員が操作性の評価を行う。
- ・操作性評価点については、デモンストレーション審査の各項目の得点の合計を満点（計 420 点、配点については図表 2 - 1「デモンストレーション審査対象機能等一覧」に記載。）で除した値に対し、デモンストレーション審査の配点（500 点）を乗じて評価点を与える。なお、評価点の小数点以下は切り捨てとする。

$\text{操作性評価点} = 500 \text{ 点} \times (\text{評価項目の得点の合計} / 420 \text{ 点})$
--

(2) デモンストレーション審査の対象機能、割り当て時間及び配点

デモンストレーション審査では、図表 2-1「デモンストレーション審査対象機能等一覧」に記載の各シナリオについて割当時間の範囲内で実施すること。提案者は、これらの内容に対応できるようにデモンストレーション用の環境（デモンストレーション用データの作成を含む）を準備すること。

図 2-1「デモンストレーション審査対象機能等一覧」の中の「評価基準」の詳細については、図 2-2「デモンストレーション審査評価基準」によるものとする。

図表 2-1 デモンストレーション審査対象機能等一覧

機能	評価項目	評価基準	割当時間
基本機能	基本機能シナリオ 1 児童相談システムの基本操作について、以下を参考にデモンストレーションすること。 ・システムの起動手順・メインメニューの見方・操作 ・人事異動等による異動処理 ・権限設定による利用者ごとの使用可能機能の違い ・権限設定の仕組み(概要)	効率性・機能性 30 点	5 分
		操作性 30 点	
児童相談 1	児童相談シナリオ 1 児童情報の新規入力について、以下をデモンストレーションすること。 ・システム内にあらかじめ取り込まれている相談情報及び住基情報との照合により、相談児童を検索し、児童相談情報を登録する。 ・検索項目は児童氏名・住所・生年月日・性別とし、部分一致を含む検索とする。 ・住基情報に該当者がいない場合でも、その旨として登録作業を行う。	効率性・機能性 30 点	5 分
		操作性 30 点	
児童相談 2	児童相談シナリオ 2 児童情報の追加入力・修正について、以下をデモンストレーションすること。 ・シナリオ 1 で登録した児童について、社会判断・心理判断・家族情報に係るジェノグラム等を作成し、追加・修正入力を行う。 ・画像等任意のファイルについて添付・ひも付けを行う。	効率性・機能性 30 点	5 分
		操作性 30 点	
児童相談 3	児童相談シナリオ 3 一次保護及び措置の決定について、以下のデモンストレーションを行うこと。 ・シナリオ 2 で情報の追加登録を行った児童について、一時保護及び措置決定の処理入力を行う。 ・発行されることとなる一時保護決定通知書及び措置決定通知書の見本を掲示する。	効率性・機能性 30 点	5 分
		操作性 30 点	

児童相談 4	児童相談シナリオ4 措置負担金の認定, 負担金決定通知書及び納入通知書の発行, 収納管理についてデモンストレーションすること。 ・シナリオ3で措置決定した児童について, 保護者の前年度市民税賦課額から措置負担金の区分を計算し, 認定処理を行う。 ・負担金決定通知書及び納入通知書の見本を掲示する。 ・負担金収納済分について消込処理を行う。 ・納入期限を過ぎた未納分について督促状発行処理を行い, 督促状の見本を掲示する。	効率性・機能性 30点	5分
		操作性 30点	
児童相談 5	児童相談シナリオ5 福祉行政報告例等, 統計作成やデータ抽出等についてデモンストレーションすること。 (1) 福祉行政報告例の発行 (2) その他, 統計資料となるデータの抽出・発行	効率性・機能性 30点	5分
		操作性 30点	
児童相談 6	児童相談シナリオ6 その他, 本市の業務にとって有用・有益と思われる, その他の利便性向上を図る機能についてデモンストレーションを行うこと。	効率性・機能性 30点	5分
		操作性 30点	
デモンストレーション 得点合計		420点	35分

図表2-2 デモンストレーション審査評価基準

観点	評価基準	配点
効率性・機能性	① 本市業務に適した機能や業務効率化に寄与する機能が充実しているか ・共通した内容の一括入力や処理が可能か ② 画面入力による効率化の工夫がなされているか ・規定値の初期表示や入力履歴の参照など入力回数を減らす工夫がなされているか ・誤登録防止の工夫がなされているか。 ・権限保有者ごとに必要な情報が表示される画面構成か ・画面遷移回数を減らせるような構成か	30点
操作性	① 画面は見やすいか ・一画面の情報量は適当か(画面スクロール含む) ・色の配置, イラストやグラフィックの活用により直感的に情報の内容が理解できるような工夫がなされているか ② 操作方法の分かりやすさ ・業務ごとに必要な画面に簡単に到達できるか ・入力必須項目と任意項目の別は明らかか ・誤入力時のエラー喚起による修正が必要な場所・内容の特定は容易か	30点

(3) デモンストレーション審査の評価

業務ごとに図表 2-3「デモンストレーション審査評価区分表」のとおり原則として 5 段階の区分の評価を行う。1 人 500 点満点で全評価者が採点后、事務局が平均点を算出し、デモンストレーションの評価点とする。なお、評価点の小数点以下は切り捨てとする。

図表 2-3 デモンストレーション審査評価区分表

提案の評価	配点 (30 点満点)
◎ ; 非常に優れている	30
○ : 優れている	24
▲ : 標準的である	15
△ : 一部課題がある	6
× : 適さない	0